



# 伊豆市議会だより

**No.66**

2020.11.1発行

発行: 伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集: 議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



浄蓮の滝

## 目次

■ 9月定例会の概要 .....	2
■ 一般質問～市政を問う .....	7
■ 12月定例会の予定等 .....	12



議会ホームページへ

# 令和2年9月定例会 令和元年度決算の認定

伊豆市議会は、令和元年度の決算を以下のとおり認定しました。

## 令和元年度各会計決算総括表

会計名		歳入	歳出	差引き額
一般会計		193億8,735万円	183億3,969万円	10億4,766万円
特別会計・企業会計	公共用地取得事業	433万円	433万円	0円
	国民健康保険	41億6,037万円	40億9,849万円	6,188万円
	後期高齢者医療	4億4,766万円	4億4,220万円	546万円
	介護保険	34億5,210万円	33億9,801万円	5,409万円
	簡易水道事業	1億4,685万円	1億3,773万円	912万円
	財産区（7財産区）	3,600万円	902万円	2,698万円
	水道事業	9億4,253万円	7億1,879万円	2億2,374万円
	温泉事業	9,023万円	4,572万円	4,451万円
下水道事業	15億8,562万円	15億1,965万円	6,597万円	

※上記金額は、千円単位を四捨五入しているため、差引き額が一致しない場合があります。

### 令和元年度一般会計の総括

#### ●歳入

ふるさと納税寄付金や財政調整基金からの繰入金が増加したが、地域振興基金の財源などの合併特例債が22億円減少したことにより、前年度より10億9067万円減少した。

#### ●歳出

小中学校のエアコン整備事業などによる教育費、台風による災害復旧費などが増加したが、歳入同様、地域振興基金への積立金24億円が減少したことにより、前年度より12億2329万円が減少した。

#### ●収支

差引き額10億4766万円から、繰越し財源3億1355万円を差し引き、実質収支は7億3411万円となる。

### ◆連合審査による決算審議では次のような質疑がありました

◆一般会計歳入歳出決算について  
支障木の伐採業務委託料につ

いて、市道巡回中に、県道・国道で支障木があった場合その道路管理者との連携はどうなっているか。

問 天城ふるさと広場管理事業の施設改良工事で1600万円余りあり、屋根に1100万円ほどかかっているが、何を直したのか。また、屋根が壊れて開閉ができないようだが、今後の対応策は。

答 天城ドーム屋根の雨漏り修繕ですが、雨漏りが想定される箇所に幕を新たに張り付けました。屋根の開閉は設備が故障しており、修理には相当の費用がかかるため、現状は開閉できない状態です。

問 地域づくり推進事業の中の、お試し住宅の利用件数と、お試し住宅が移住に結び付く可能性について。

答 お試し住宅は18組の方の利用があり、そのうち3組の方に移住していただきました。

問 バス路線維持事業で、「お出かけ中伊豆」事業成果の検証結果からどのような課題が浮かび、今後に向けてどのような検討がなされたのか。

答 アンケート結果では、前日の予約が一番のネックということがわかりました。今回の運行方法は今の地域にそぐわない形だったので、今後は地域の方々、交通の専門家と協議しながら新たな方法を検討していきます。

問 ふるさと納税促進事業で、伊豆市では宿泊券が寄附件数の71%を占めているが、寄付総額6億1260万円に占める金額ベースと比較はいくらか。

答 宿泊券は5億8000万円、総額に占める割合は95%になります。

問 汚泥運搬処理業務について、富士宮市で中間処理として焼却した後、群馬県草津町で埋立てをして最終処分という方法を取っているのはなぜか。

答 三者協議により契約を結んで処理をしています。

問 健康づくり事業で、6年計画である健康いず21計画について、令和元年度までの成果をどの様に評価しているか。

答 目標に達成できなかったのは検診の受診率ですが、2022年の目標には大分近づいてきています。土日の検診の開催をして受診しやすい環境を整えた成果だと判断しています。

問 中伊豆中学校の雨漏り補修工事について、雨漏りは完全に直ったのか確認したい。

答 工事をした部分の雨漏りは止まりましたが、その周囲で新たに雨漏りが発生したため、今回、補正予算を提案しています。今年度、長寿命化調査により計画を立て方向性を打ち出していきたいと考えています。

### ◆簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 3200万円の委託料の不用額があるが、不用となった理由の説明を求める。

答 簡易水道の統合が1年延びたことにより、統合認可申請業務委

託料1969万円、公営企業法適用推進アドバイザー業務委託料700万円の2点が主な不用額の内容です。

### ◆下水道事業会計歳入歳出決算の認定について

問 令和元年度の下水道接続者の増加数と接続率について説明を求め。

答 市全体で処理区域面積が4・59ha増加し、処理区域内人口は149人増加しています。水洗化率は86・5%となりました。

### ◆国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問 医療費分析等業務委託料分析結果と、委託事業の成果について。また、伊豆市の疾病傾向とその対策は。

答 伊豆市の疾病傾向はメタボリックシンドロームが多く、関連して脳血管疾患による死亡、糖尿病の重症化が多いです。対策として、重症化しないよう、受診勧奨を強化しています。

### ◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

## 討論

### ◆議案第65号 令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定

#### 反対討論

(木村 建一議員)

問 他年度と比べ、令和元年度に、特徴的な変化や動きはあったか。

答 前年度に比べ、給付費が9800万円から2億2000万円に増えています。特にデイサービスと福祉用具の貸出が増えており、在宅介護をしている方がサービスを上手に使用しているのではないかと考えています。

平成30年度の市民アンケートでは、人口減少が進んだ場合、将来に不安を感じるか、という市民アンケートに「不安を感じる」は約85%にも達しているのです。深刻に受け止めるべきです。少子化が進んでいるから問題としているのではありません。伊豆市最大のテーマ「人口減少問題」は、全面的に総括すべきです。移住定住のために一定の成果があったことは評価していますが、出生率の増加の

総括がありません。  
一般財源の民生費の負担割合は、平成29年度から60%を切り、令和元年は52・9%です。自治体独自の福祉政策、市民の暮らしをどう見ているのか検証、検討を求めます。

賛成討論 (青木 靖議員)

令和元年度はオリパラを1年後に控え機運を高めるはずの年でした。実際には、台風15号・19号による被害が発生し、災害復旧に多くの労力と予算を費やすこととなりました。

そのような中でも伊豆市の行政は、限られた予算と限られた職員数で様々な事柄に対応し、まちづくりの主要な事業は少しずつだが着実に進みました。小中学校にエアコンを設置できたことも結果的に大変良かったと思います。

年度末には、新型コロナウイルスの影響でオリパラの1年程度延期が発表されたが、次年度に向けての各種の準備は整えられていました。

財政の健全性は、引き続き確保されており、評価できるもので

す。決算審査の過程から総合的に判断して、認定すべきと考えます。

この他、令和元年度一般会計決算の認定に対して、反対討論2件、特別会計決算の認定に対しては、反対討論4件、賛成討論が1件ありました。

予算・条例・人事・その他議案について

令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算(第6回)

借地解消の取り組みにおける用地購入費7704万円、市内公的病院等補助金2億2617万円、同報無線のデジタル化整備工事に5億9400万円、小中学校の校内通信ネットワーク環境の整備や学習用パソコンの購入などGIGAスクール推進事業費4億196万円などを計上し、総額15億6870万円を増額する。

◆一般会計補正予算(第7回)

本年7月の豪雨により被害を受けた市道・河川等の災害復旧費

れるかと思えます。

教育厚生委員会

◆一般会計補正予算(第6回)

市内公的病院等補助金の使途について説明を求めます。また、公的病院「等」とあるが、公的病院以外にも補助金を出すのか。

特別交付税に関する省令に公的病院・市立病院などが記載されているため「等」を書き入れています。補助金は、市内の病院は常勤医が少ないため、順天堂病院等からかなりの数の非常勤医が来ており、その人件費として全て使用されます。常勤医の通常時間内の手当は含まれておらず、夜勤や救急等、緊急の手当の補助金になります。

教育用備品・Wi-Fi環境

がない家庭はどのくらいあり、どう対応するのか。また、休校になった場合はオンライン授業を行うと思うが、家庭内で操作をするのが困難な子どもについてはどのように対応するのか。

アンケートを各世帯に行い、

3880万円に予備費1800万円を加え、総額5680万円を増額する。

条例

伊豆市簡易水道事業の公営企業化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

簡易水道事業について公営企業法を適用することに伴い、関係する8条例について所要の改正をするもの。

伊豆市手数料徴収条例の一部改正について

番号法の一部改正に伴い廃止されたマイナンバーの通知カードの再発行事務を廃止し、その他の事務においても、現状の取り扱いに合わせて文言等の改正を行うもの。

その他

市道路線の認定について

平成31年3月に都市計画決定した牧之郷地区計画の地区施設「生活道路2号」の一部を牧之郷駅周辺整備事業の一環として整備をす

るため、市道四ツ溝殿ノ前2号線として道路を認定するもの。

人事

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の植木 和久氏が令和2年12月31日をもって任期満了となることから、引き続き委員として推薦することについて議会の意見を求めるもの。



各常任委員会の議案審査では次のような質疑がありました

総務経済委員会

◆一般会計補正予算(第6回)

美しい伊豆創造センター負担金199万円について、全体との合計金額と詳細な内容の説明を求めます。

総額では2600万円となります。目的は県外からの誘客で、大きく2つに分けて事業展開をしていきます。

Wi-Fi環境がないと回答した家庭は6%ありました。その家庭には、貸出用ポケットWi-Fiの整備を予定しています。休校対応については、個別のタブレットに、自主学習ができる学習ドリルのソフトを入れて対応していきたいと考えています。

新型コロナウイルス対策事業

費として増額される消耗品と自動車借上料について、説明を求めます。

消耗品は、消毒液、非接触型体温計、生徒全員分のマウスシールドの購入です。自動車借上料の増額は、修学旅行用のバスの台数を増やしたり、中型を大型に変更したりして密を避けるためのもです。

討論

◆議案第81号 令和元年度一般会計補正予算(第6回)

賛成討論 (波多野 靖明議員)

主な歳出は、消防費の災害対策費として同報無線のデジタル化に

関するものです。現在のアナログ方式の同報無線は古く、機器の故障が絶えない状況です。国内メーカーの受注生産が終了しており、機器故障による随時の更新が不可能になる恐れがあります。市民の生命・財産を守るため、同報無線は大きな役割を持っており、デジタル化は早期に行う必要があると考えます。また教育費の中で、GIGAスクール推進事業はコロナ禍の経験上必要に迫られるものであります。未来の伊豆市を担う子供達のためにも、大変重要なものだと考えています。その他事業においても、市民生活に欠かす事ができない事業であり、適正な予算であると判断いたします。

この他、予算・条例・その他の議案に対し、反対討論3件、賛成討論2件ありました。



◆市道路線の認定について

この道路を造ることにより何戸の家が建つと考えているのか。

この道路を整備する目的は、基本的には駅周辺の交通安全と利便性の向上です。開発が進むと、10軒から15軒程度の新築が見込ま

◆伊豆市手数料徴収条例の一部改正について

条例改正で何が変わるのか。

「埋葬又は改葬に関する証明」を「改葬許可証の交付」、「埋火葬許可証の再交付」を「埋葬・火葬許可証の再交付」に改めるなど、主に手数料の名称等の改正です。

# 市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

9月定例会の一般質問は、14名の議員が行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

昨年年度の台風15号と19号では市内でも多くの停電が発生しました。先に開催された県・市町・事業者との連絡会でも、台風などの風水害に伴う大規模停電の原因の1つは、倒木等による電柱倒壊や断線であることから支障木の伐採の推進が求められています。県におきましても、地域防災計画を修正し、倒木被害防除計画を新設しておりますので、伊豆市としても、自治体の役割を果たすべく施策を推進してまいります。

**市長 答** 自治体の役割を果たすべく施策を推進します

長期間の停電は住民の生活や経済活動に大きな影響を与えます。被害の抜本的な解消策は障害木の事前伐採しか方法はありません。行政は率先して防止策を進め、市民に対し適切な情報を発信し理解を得ることが求められています。対策の進捗状況は如何か。



毎年、台風等による倒木によって停電の被害が多発しています。

(杉山 武司議員)

**質問** 予防伐採による停電防止対策を問う

伊豆市の小中学校のトイレの洋式化の現状は、小学校は校舎53%、体育館93%です。内訳は、修善寺地区の4小学校の校舎が39%、学校再編を行った天城小、中伊豆小の校舎は100%です。体育館は和式を1つくらい配置しています。中学校は校舎32%、体育館59%と洋式化率が低い現状です。土肥小中一貫校は校舎100%、体育館は意図的に和式も配置したため75%となっています。

**市長 答** 洋式化率は小学校から高くなっています

問題であった修善寺南小のトイレの悪臭の問題は3月の議会で改修のため予算がつけました。しかしその事をきっかけに、他の小中学校の洋式化・改修問題などの現状になりました。他校の現状はどのように捉えていますか。またそれについて今後の対策や計画等ありますか。



問題であった修善寺南小のトイレの悪臭の問題は3月の議会で改修のため予算がつけました。

(間野 みどり議員)

**質問** 伊豆市の小中学校のトイレの洋式化の現状と検討

## 令和2年9月定例会で審議した議案

### ■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口繁	星谷和馬	間野みどり	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
令和元年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
令和元年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度伊豆市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度伊豆市温泉事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度伊豆市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度伊豆市7財産区特別会計歳入歳出決算の認定について※3	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

### 補正予算

令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第6回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第7回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

### 条例・その他

市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
-------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### 議員発議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市議会基本条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆スカイラインC.C.発電所設置に関し環境影響評価の確実な実施を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません  
 ※3 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊

### ■全会一致で可決した議案等

令和元年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和元年度伊豆市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和2年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	令和2年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第1回)
伊豆市簡易水道事業の公営企業化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	伊豆市手数料徴収条例の一部改正について
人権擁護委員候補者の推薦について	

質問 不都合な真実はなかったのか



(山口 繁議員)

この4年間の一般質問を振り返ります。大きな出来事としては、文教カーデンシティ事業の中止があり、その判断となった中のひとつに、住宅地が病院候補地になるなど事業構想の目的を歪めるような計画変更がありました。並行検討とされた住宅地構想に関する不都合な真実がなかったか。このことについて改めて見解を求めます。

市長 住宅地整備と病院移転事業との関連性は無い

住宅地開発を病院移転に変えた結果、事業に一貫性がないという理由で議員は反対されたと記憶しています。

新中学校を進めてほしいとのPTA400人の請願を却下し、関連予算を否決されたので、強い意志で反対されたのは事実であります。

住宅エリアを進めていくのに不都合な事実があった様に言われますが、住宅地整備が実現不可能になったので病院移転事業に変更したという事実は全くありません。

質問 伊豆総合高校土肥分校の現状と課題について



(永岡 康司議員)

現在、在校生は31名で、募集停止が予想されます。後援会又学校関係者が、市外から希望する生徒を「土肥留学」と称し募集し下宿させ、分校の存続と、地域の活性化を図ろうとしています。分校の現状と生徒募集停止の問題をどうとらえるか。土肥分校下宿運営協議会の活動の支援策は。受入施設の改修等の支援はありますか。

市長 高校存続のために可能な限り支援していく

伊豆総合高校土肥分校の入学生の募集停止という事態になるかもしれないという危機的状況を解決するため、地元で組織する後援会が下宿運営協議会を設置し、応援態勢に入っていたことはたいへん力強く思っています。市としても同校の存続を強く望んでおり、この活動を支援するための補正予算を組みました。今後とも、地域の高校を存続させる地元の活動を市としても可能な限り支援してまいります。

質問 若者の声を生かして元気なまちづくりを



(杉山 誠議員)

人口減少が続く中で、どうすれば若い世代を呼び込むことができるかが問われており、そのために若者・女性活躍できる環境づくりは極めて大切と考えます。市の将来を担う若者たちにとって魅力あるまちづくりを進めるために、若者議会など、若者の声を市政に反映させる仕組みを強化してはどうか。

市長 若者や女性の声を市政に反映させる

若者や女性の声を市政に反映させる仕組みづくりは何より必要であると考えています。

現在、伊豆市未来塾を活用した若者会議の試行、伊豆総合高校生との連携、市政全般の意見を伺うための市民アンケート調査、子育て女性の意見を伺う伊豆市子育てママスタッフ、さらに市政女性モニター制度など、多くの場で、若い人や女性などから意見を聞く制度を作っています。

第2次総合計画の後期計画を策定するにあたり、十分に配慮していきたいと思えます。

質問 台風シーズンを迎える避難所運営



(小長谷 順一議員)

避難所の過密状態を防止する具体的な対策方法としては、在宅避難や親族・友人宅などへの避難を優先するよう周知することなど、新型コロナウイルスによって避難のあり方も分散避難重視へと変わりつつあります。

伊豆市の新型コロナウイルス等感染症を踏まえた「避難所開設運営方針」と「分散避難」について伺います。

総務部長 避難所運営マニュアルの基本を策定中です

市では県の避難所運営ガイドラインやマニュアルを参考に市の避難所運営マニュアルの詳細を策定しているところです。

分散避難の検討状況ですが、市としては、感染拡大防止の協力をお願いするために「避難に関する知っておくべき6つのポイント」、そして「避難行動フロー」、これらのリーフレットを作成し、先月の広報7月号やホームページにて市民の方に分散避難を含め、あらかじめ感染予防を作成し、市民の皆さまにお知らせしています。

質問 給食無償化の今後の行方



(小長谷 朗夫議員)

今回の一連のコロナ対策の中に1学期間の「学校給食の無償化」のため2300万円が歳出されました。本市の学校給食費を、これを機に無償化の方向へ舵を切るのか、今回のみの単発で終わるのか伺います。

①今回の無償の目的はどういうことでしょうか。②教育委員会とのすり合わせをした結果でしょうか。③この補助は今回で終わりですか。

市長 本施策は1学期限り

給食費無償化はコロナ対策の一環であり、教育委員会と協議した結果、保護者の負担軽減ということで決めさせていただきました。同時に補正した経済対策とのバランスもあるので、本施策の期間は1学期限りと考えています。

教育長

仮に給食費を無償化するために財源を使うのであれば、他の教育内容の充実のためにその財源を使いたいと考えています。

質問 くさくて汚いトイレです。入れません



(森 良雄議員)

修善寺南小学校のトイレは汚い・臭いと言われています。市長、そして感想をうかがいたい。

教育長 職員、子ども達が一生懸命に掃除しています

ある程度の老朽化が進んでいる事は承知しています。臭いについても教育委員会で対応しており、改善されたと聞いています。古いことは古いですが、とても清潔に保たれている状況です。職員、子ども達が一生懸命掃除しておりますので、古いですが丁寧に使っていると考えています。

今後、改修等については引き続き教育委員会でご検討してまいります。



質問

森林の再生と活用の取組みについて問う



(下山 祥一議員)

伊豆市の総面積の8割以上を占める森林は環境や防災に多大な役割を果たし、稲作、わさび、しいたけ農家もその恩恵に与っています。ところが伊豆市の森林を取巻く環境は、「ナラ枯れ」や民有林の荒廃が進み、自然にまかせたまま放置できない状況です。防災上の観点からも、計画的な森林整備を進めるべきではありませんか。

市長 市答

関連する制度を最大限活用し整備を加速する

国や県の森林の整備、木材の有効活用を推進するための補助制度などの既存施策に加え、「森林環境譲与税」を財源とした森林整備や、「森林経営管理制度」が創設されましたので、伊豆市においても、これらの制度を最大限活用して、手入れの行き届いていない民有林を始めとする人工林の整備を加速してまいります。この森林整備によって、台風や豪雨においても大量の杉・檜の流失や倒木による被害が少なく、防災において一定の効果があると考えています。

質問

伊豆市都市計画の見直し



(西島 信也議員)

令和2年度末に伊豆市全域を都市計画区域に指定することだが、次のことについてお尋ねします。  
①修善寺以外の天城・中伊豆・土肥地区には商業地域、工業地域等が設けられていないが、その理由は何か。  
②今後、伊豆市全域に都市計画税を導入することになるのか。

建設部長 市答

総合計画に掲げる構想実現の一翼を担うもの

①3地区は急峻な山間、海沿いの地域など地形の制限の中で、長い年月により共存・共栄し土地利用が行われてきたことから、建物の用途が混在した土地利用の現況となっており、そのため、新たに商業・工業等の建物用途に誘導し、制限を行う地域の指定に当たっては、十分な期間をかけ、居住環境基準など土地利用の制限に対する住民合意形成を図っていくことが不可欠と考えています。  
②区域拡大に合わせて都市計画税を導入することはありません。

質問

コロナ禍で「より良い学校教育環境」を



(木村 建一議員)

①コロナ禍の中、少人数数学級の見解を求めます。  
②新中学校建設などで、コロナ感染症から生徒たちの心と体の健康を守ることを何よりも優先することが求められています。新しい生活様式を新中学校にどのように取り入れるのか、生徒間の身体的距離をどう設定しますか。

教育長 市答

少人数数学級の良さは当然あります

①少人数数学級で期待できることは、教科指導、生徒指導において、一人ひとりにきめ細かく関わることでできることです。  
②文部科学省から「学校の新しい生活様式」という衛生管理マニュアルが示されており、学級内の児童生徒の間隔を、1メートルを目安に最大限の間隔を取るよう通達が出ています。  
新中学校においても、今後の設計段階で、座席配置の間隔をできるだけ広く取れるよう検討してまいります。

質問

小水力発電の活用と将来の水素エネルギー



(波多野 靖明議員)

高低差のある市内の河川や農業用水を利用した住民に不安を与えること無く安定して発電できる小水力発電は、地産地消エネルギーとして多くの市民の利益に叶うと思えますがいかがでしょうか。  
また、水素エネルギーの活用に向けた長期的な取組みをする事は将来、伊豆市の財産になると考えますがいかがでしょうか。

市長 市答

小水力発電の活用は導入体制の整備から

伊豆市は降水量が多く山間地で高低差のある水路があり、小水力発電に適している地域だと思えます。しかし課題も多く、安全対策や水利権などの問題をクリアして、導入できる体制を整備しないと先に進まないと考えています。

市民部長 市答

水素エネルギーの活用ですが、現在静岡県が「ふじのくにFCV普及促進協議会」を発足させ、将来の水素社会実現に向け行動を始めた状況です。今後の動向に注視していきたいと思えます。

\*FCV：燃料電池自動車

質問

コロナの影響で遅れている事業と見直し



(青木 靖議員)

新型コロナウイルス感染症、又は対策を講じながら規模を縮小するなどしている事業については、その影響をどのように評価して今後どのように対応しようと考えていますか。  
更に、来年度予算の編成では、どのように事業の優先順位を考えていきますか。

市長 市答

事業を改めて見直し、必要性と緊急性を勘案

本来実施しなければならぬ事業の多くが新型コロナウイルスの影響を受けていますが、今年度に予定した事業を改めて精査し、中止するもの・延期するもの、規模の縮小など、やり方を変えて必要性和緊急性を勘案した上で見直してまいります。

総務部長 市答

サマリーレビューといわれる財政ヒアリングを実施し、各部署の課題や今後の取り組みについて確認を行ったほか、今後、総合計画と総合戦略の進捗確認のためのヒアリングを実施し、優先順位を決定していきたいと考えています。

質問

行政施策に議会・市民要望をいかに取り入れたか



(三田 忠男議員)

市民代表としての議会の決議・請願・意見書等を、行政施策立案時にどのように取り扱い、行政施策・運用にどう生かしてきたのか、議会・市民からの要望を今後どのように取り扱っていくのか伺います。

市長 市答

市民の意見を聞きながら具体的に対応し実現

議会の意思を対外的に表明する決議への対応は、決議内容を検討し、具体的に対応し実現しています。

市民からの要望や意見聴取については、これまでも行っていますが、市民アンケート、パブリックコメントの実施、地区懇談会、市長としてのタウンミーティングの開催、ホームページなどによる意見募集など、多様な手段で積極的に行っていくと考えています。

議員発議

9月定例会では、3件の発議が可決されました。

意見書

★発議第2号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症によって地域経済にも大きな影響が及び、地方税・地方交付税の大幅な減収等により、今後の地方財政はこれまでにない厳しいものになることが予想されることから、地域の実情に応じた行政サービスを安定的に提供するため、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保を強く国に要望するもの。

★発議第4号 伊豆スカイラインC・C・発電所設置に関し環境影響評価の確実な実施を求める意見書

伊豆スカイラインC・Cに発電所を設置する事業者が「環境影響評価その他の手続きを行う必要がある」とした県の判定に処分取

り消しの審査請求を行い、取り消された場合は12月から工事を開始する予定であると説明会を行ったことから、環境影響評価が必ず実施されるよう、設置地区の住民から陳情があつた。

市議会はこれを協議した結果、環境影響評価は必要なものと判断し、県に対し確実な実施を要請するもの。

条例改正

★発議第3号 伊豆市議会基本条例の一部改正について

・議員研修の充実強化を図ることを規定する第7条について、研修目的に「議会運営の強化」を加え、議員が研修に関し積極的に提案を行い、研修に参加する規定を第3項として追加する。

・予算及び決算を審議する方法を規定する第16条の内容をより明確にするため、現行条例の「資料提出」のみであるところに「説明を求める」規定を追加する。

・その他、条例を作成する一般的な原則に即していない記述を修正する。

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができ、現在、感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

傍聴に関するお問い合わせ

伊豆市議会事務局

(0558)72-9906

12月定例会

本会議の予定

場所	本庁2階 議場
時間	午前9時30分～
11月26日(木)	行政報告 議案上程
12月1日(火)	一般質問
2日(水)	一般質問
3日(木)	一般質問
7日(月)	議案質疑
17日(木)	委員長報告 質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

12月定例会

委員会の予定

場所	本庁2階 議場
時間	午前9時30分～
12月8日(火)	総務経済委員会
9日(水)	教育厚生委員会

編集後記

第5期議会の最終の定例会である9月定例会が終了いたしました。その模様を伝える議会だより第66号も順調に編集作業が進み、皆さまにお届けすることができました。

この紙面が皆さまに届く頃には、新たな第6期議会がスタートをしているはず。人口減少という市の活力を減衰させる大きな課題が横たわっているなかで、持続可能な伊豆市をどのようにしていくのか、新たな議会に大いなる期待をしたいと思います。

議会広報委員 山口 繁